




Paris 芸術生誕録
～翠輝くベルギーの地で結ばれし日仏の絆～

 M.Y.Y. Communications





長谷川栄先生 ジャンポール・ファヴァン氏

パリ・ベルシー美術館で開く ワイン・ラベル祭

文／長谷川栄
国際美術評論家連盟会員・作家
フランス政府シュヴァリエ芸術文化勲章

パリ・ベルシーといえば、セーヌ川から船で運ばれてくるワインのヨーロッパ第一の集積地として誇り高い場所である。その余韻を引受けた現在は財務省、国立図書館、国立競技場があり、とくに既に2回のワイン・ラベル・アート展を開催し注目のベルシー美術館が人気の場所で、2010年は3回目となり賑わうことであろう。とくに開催の日をヨーロッパ文化財の記念日と決め、パリでは今から日本側アーティストを歓迎するその意気に燃えつつある。私も毎年同行するのが楽しみで、素晴らしい雰囲気での、受賞される皆さんの喜びに湧く姿を見て満足している。世界でトップの芸術の都で、自作のアートを発表し、記念画集に記録され、また歴史遺産やアートのスポットへの訪問もあわせ、盛り沢山の贅沢な日仏交流の成果を挙げられる日を楽しみに待つとしよう。MYの若者たちが、こんどはどんなコスチュームで現れるのかも、ショーを盛り上げる鍵となっている。

書籍について

タイトル……『Paris 芸術生誕録 ～翠輝くベルシーの地で結ばれし日仏の絆～』

発行……2010年9月19日(予定)

ページ数……350ページ(予定)

サイズ……A5版

定価……1800円+(税)

『Paris 芸術生誕録 ～翠輝くベルシーの地で結ばれし日仏の絆～』について

パリで最も古い人類の痕跡が見つかったとの伝説があるベルシー。それはある種、世界中で“芸術の街”と呼ばれるパリの原点とも考えられ、フランス国家が誇る食の芸術であるワインの流通を発展させた地でもあります。そのフランスの歴史ある街で、日本芸術が2010年に国連が定める“文化の和解のための国際年”を想定して創られたワイン“知徳の扉”として起用されることは、日仏合作のオブジェが誕生することを意味し、両国の新たなる未来の扉を開くことに他なりません。

日本とフランスの芸術による絆の証——それが『Paris 芸術生誕録 ～翠輝くベルシーの地で結ばれし日仏の絆～』なのです。

※『Paris 芸術生誕録 ～翠輝くベルシーの地で結ばれし日仏の絆～』は、日本語とフランス語の二カ国語仕様の書籍となり、フランス国内では久遠の栄光祭実行委員会およびベルシー美術館を通じて、美術に所縁のある施設やワインの蔵元などへ寄贈されます。

出版記念パーティーについて

●期日

2010年9月19日(日) 《ヨーロッパ文化遺産の日》

●会場

ベルシー美術館(フランス・パリ12区)

パリ・ベルシー地区は、かつて太陽王と呼ばれたルイ14世の時代にワインの流通によって栄え、今日では財務省や大規模なコンサートや競技会場などもあり、フランス人にこよなく愛されている街。特にフランス政府が定めるヨーロッパ文化遺産の日(※2010年は9月19日)は毎年、国内だけでなく世界中から何万人もの人々が集まります。そこで、この度は芸術による新たなる親睦を深める意味で、日本芸術とフランスワインが一つとなったアートラベルの書籍『Paris 芸術生誕録～ 翠輝くベルシーの地で結ばれし日仏の絆～』の出版記念パーティーおよびワインラベルのタワー展示をベルシー美術館(※歴史的建造物指定認定)にて行うこととなりました。

起用ワイン・蔵元について

この度の“知徳の扉”は、国連が2010年に定めている『文化和解のための国際年』を想定して、特別醸造された完全なるオリジナルのワインとなっており、希少価値の高いものとなっております。

またフランス国内で最も美しい村として知られている村・ロワールのヤン・パレ氏（※フランス実行委員会の一人）の蔵元で、真心をこめて創られる“知徳の扉”は、まさに“知恵”と“人徳”を兼ね揃えた芸術家の先生方と作品を象徴したような風趣に富んだ風味と芳しき香を纏っているのです、きっと日仏の新たなる芸術の扉を開くこととなるでしょう。

書籍とワインのご贈呈について

『Paris 芸術生誕録』を一冊と『知徳の扉』（赤ワイン）一本をお届けいたします。なお、お届けの時期につきましては、平成22年9月下旬～10月上旬を予定いたしておりますが、書籍の発行やワインの輸入の関係上、やむなく前後する場合がございますので、予めご了承下さいませ。

※『Paris 芸術生誕録』は、全国発売で、価格は定価(¥1,800-) + 税となります。

※ご贈呈分のワインには、木箱はつきません。

追加ワインについて

1セット(赤2本／特別高級木箱入り) ¥29,000- (ラベル再制作費・税・送料込み)にて、受け賜ります。

※この度のアートラベルワインは限定生産のため、本数に限りがあり、ご注文が殺到することが予想されますので、ご希望の方はなるべく早めに弊社・担当までご連絡いただきますよう、お願い致します。ご連絡いただきました後、追加ワインラベルの申込書を発送させていただきますので、ご同封させていただきます返信用封筒にて、ご返送下さいませ。





企画趣意

芸術とワインの完璧なる融合——それは今日、“アートラベル”として世界中で認知されており、かつてはパブロ・ピカソやマルク・シャガール、サルバドール・ダリを始めとする芸術界の巨匠たちの作品が起用され、世間の注目を浴びてきました。

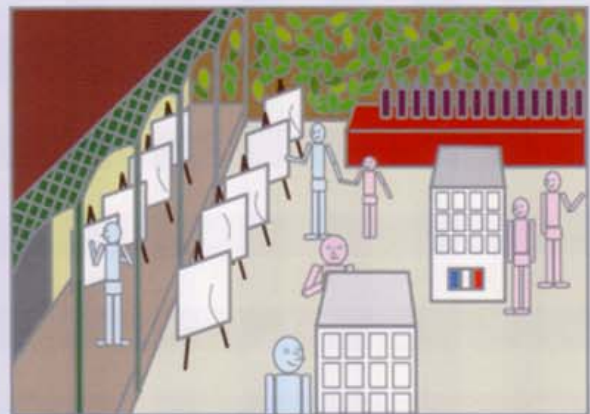
その後も、巨匠たちのアートラベルは、ヨーロッパを中心に日本、カナダ、香港、中国、ロシア、アメリカなど、ラベルの原画展を通じて、世界各国で話題になっており、今やアートラベルは至宝なる芸術ジャンルとしての地位を確立しているといっても決して過言ではありません。

そして、2010年——。

国連が定める“文化の和解のための国際年”を迎え、ある専門家は「アートラベルは、国際的な文化の和解に対して、最も適した形だろう」との見識を示しており、その理由を「アートラベルは、ワインと芸術作品が融合されて初めて完成される、いわば合作のオブジェだからである」と述べています。

そこで弊社M.Y.Y.コミュニケーションズ(株)は、フランス・ヨーロッパ文化遺産の日(2010年9月19日)に日仏の絆を深めるべく、日本芸術と“知徳の扉”という伝説のロワールワインの合作オブジェであるアートラベルを一冊の美術専門書籍・『Paris 芸術生誕録 ～翠輝くベルシーの地で結ばれし日仏の絆～』を日本語とフランス語の二カ国語仕様で、製作させていただくこととなりました。また当日は、太陽王ルイ14世の時代にフランスワイン流通の発展の地として栄えた街のベルシー美術館(※フランスの歴史的建造物指定認定)にて、出版記念パーティーおよびアートラベルのタワー展示を盛大に行い、さらにフランス国内の美術に所縁のある施設やワインの蔵元に寄贈いたします。

フランス実行委員会最高顧問のジャンポール・ファヴァン氏と日本美術評論家の権威・長谷川栄先生(実行委員長)総合監修による芸術の特集が組まれる『Paris 芸術生誕録 ～翠輝くベルシーの地で結ばれし日仏の絆～』に“知徳の扉(ワイン)”のアートラベルが収録された時——日本全国で発売され、フランス国内の美術に所縁ある施設へ寄贈されることで、両国の未来へと続く扉が開かれることでしょう。



主催

《久遠の栄光祭実行委員会》

実行委員長 美術評論家 長谷川栄先生

実行委員 ベルシー美術館館長 ジャンポール・ファヴァン氏

ループル美術館員 アンヌ・マリーキェット氏

ヤン・パレ社代表 ヤン・パレ氏

デザイン研究家 牧谷孝則先生

心理学者 清田予紀先生

小社代表 志知正通

他、美術関係者 多数

企画・運営

M.Y.Y.コミュニケーションズ株式会社

後援協力

ベルシー美術館

ヤン・パレ社

株式会社ますもと

株式会社コミーツーリスト

株式会社サカエ・ライト

《ご選出にあたって》

『Paris 芸術生誕録』の審査にあたっては“久遠の栄光祭実行委員会”の名の下、各専門家の先生方のご意見を参考に選出されます。また審査対象となる作品は、諸外国で行われた展覧会や日本国内で行われた展覧会（※各都道府県で行われている市展などの地方展や個展なども含むものとする）、美術の専門書籍やインターネット上で発表されたものすべてとなります。

※本年度にご発表されたものに限定せず、過去にご発表された作品も審査の対象となっています。なお、新作品でご発表いただく場合は、実行委員会の先生方にご相談いただくことも可能です。

《ご受賞について》

2010年9月19日にパリ・ベルシー美術館にて行われる『Paris 芸術生誕録』の出版記念パーティーおよびアートラベルのタワー展示終了後、14日間の猶予を以って、久遠の栄光祭実行委員会内で厳正なる審査を行い、正式にご受賞者を決定いたします。

※審査期間中の中間報告やお問い合わせにつきましては、公正を期するものとして、一切応じられませんので、予めご了承下さいませ。

《受賞名一覧》

Paris 芸術生誕録大賞、知徳の扉アートラベル黄金賞、ヤン・パレ社特別芸術賞、日仏芸術文化明哲賞、Paris 芸術生誕録功労大使などを予定。